

令和3年度 第6回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 令和4年1月18日(火) 14:00～15:45
- 2 開催場所 小平市立小川公民館 ホール
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 8名(うちZOOM参加者4名)
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、
分館担当係長 9名
- 4 傍聴者 2名
- 5 配布資料 (1) 提言作成基礎資料2・・・資料1
(2) 令和3年度 小平市公民館定期講座等実施状況表・・・資料2
(3) 令和3年度 東京都公民館連絡協議会 職員部会 報告・・・資料3
(4) 令和3年度 委員部会研修 報告・・・資料4
(5) 令和3年度 東京都公民館研究大会開催要項・・・資料5
(6) 令和4年度 小平市公民館事業計画の概要(案)・・・資料6
(7) 令和3年度 第5回小平市公民館運営審議会 会議要録・・・資料7
- 6 次第 (1) 館長報告
(2) 提言について
(3) 令和3年度公民館定期講座等について
(4) 東京都公民館連絡協議会について
(5) 令和4年度 小平市公民館事業計画の概要(案)について
(6) その他

会議の概要

1 館長報告

- (1) 「公共施設マネジメント」の状況について
 - ・小平市公共施設等総合管理計画(素案)
 - ・小平市公共施設マネジメント推進計画(素案)
 - ・小平第十一小学校等複合施設の整備に関する基本計画(素案)

が、それぞれ策定された。これにともない、市民説明会が開催された。

このほか、市民意見公募（パブリックコメント）手続きを1月24日まで行っている。詳しくは市ホームページをご確認いただきたい。

（2）1月以降の公民館の運営状況について

昨年末以降「オミクロン株」の急速な感染拡大により、新規感染者数も急増している。明日19日には、国・東京都における対策会議が開催され、「まん延防止等重点措置」が決定される予定である。まだ、具体的な内容は確認できないが、市においても国・東京都の決定に従い、何らかの制限が行われる見込みである。

状況に応じて、開館時間短縮、利用人数の制限などの措置も視野に入れなければならないと認識している。これらの措置を講じる場合は、速やかに利用者に周知できるよう努めていく。

（質疑応答）

委員 開館時間短縮について、夜間の利用区分を全て利用休止にするのではなく、少しの間でも活動できるように考慮してほしい。

館長 利用者にご不便が無いように検討したい。

2 提言について

（意見交換）

会長 前回さまざまなご意見を伺い、修正をかけたものが、資料1の提言作成基礎資料である。今回は、項目4以降を主に伺いたいが、それ以外の部分でも構わないのでご意見をお願いしたい。

委員 修正された部分は、コメントがあったのでよく分かった。項目4の公共施設マネジメントについて、④と⑤について、気になっていた部分ではあるので、加筆されていて良かった。市民への説明が十分されることが重要で、また利用者の意見をできるだけ聴いてほしい。項目5の利用者負担の見直しについて、審議会委員になる前からいろいろな方からご意見を伺っていた。提言として、どこまで関与したらいいものか個人的に迷っていたが、子育て世代や年金世代の方への配慮をしてほしいという意見を聞いていた。

会長 公共施設マネジメントについて、市民への広報が重要だということで、このように提言に記載する予定である。また、利用者負担の見直しについては、ここ2年間コロナ

の影響で取組が進んでいないので、前期の提言をそのまま掲載する予定である。できるだけ利用者の声を聴いて、利用者がこれまで通り利用できるように、十分に検討していただきたいと記載されている。

委員 項目1のコロナ禍の公民館の役割について、公民館は生涯学習、社会教育の役割が大事だろうと思う。IT技術やパソコンを使っただけで、学習方法を議論されるべきだった。たまたま2年前からコロナ禍によってオンライン、テレワーク、仕事や学習方法が変化している。Wi-Fiの設置だけが云々ではなく、Wi-Fi等の基礎的な設備を踏まえたうえで、学習していく必要がある。市民活動支援グループは研究会を作り、具体的にZoomのやり方の講習の場を設けてきた。公民館を利用してシルバー人材センターなどが実施しているが、公民館として、公的な立場で実施してほしい。例えば、古いパソコンだとカメラがついていないので、外付けでカメラを付けなければならない。このような相談にも対応し、1人でも2人でもZoom、オンラインでの学習ができるように実施していただきたい。Wi-Fi設置だけでなく、ここに明確に提言したい。公民館は、初級中級といったIT関連の講座を積極的に設けてほしい。2点目は、項目6の(10)にあるが、昨年、公民館のロビーを活用した居場所づくりとして、持続可能な「低い垣根の居場所づくり」の私案をもう少し、きちんと記載してほしい。

委員 項目3の事業企画委員会について、オンラインは必要なことだと思う。私が思うのは、これを実施すればすべて解決ではないと思っている。メンバーに若者を入れるのであれば入れてほしい。その中にオンラインを使用した企画が必要ではないかと思った。Wi-Fiが設置されればそれがすべて解決するとは思っていないので、ぜひ、そのあたりを入れてほしい。事業企画委員会のメンバーの固定化が高い。それを広くするために、みんなが公民館に目を向けてもらうという意味で、委員の構成バランスの見直しをしなければならないと思っている。オンラインと入るのであれば、計画立てたオンライン化が必要だと思う。

委員 項目5の利用者負担の見直しについて、私の意見としては公民館利用者全員の意見を聞いて、審議会委員としても意見を述べたい。その役割が審議会委員にあると思う。大きな問題なので、利用者の代弁ができるような方法で提言に入れたいと思う。項目6(7)②の公民館と地域センターの役割について、小学校に公民館と地域センターを複合するという案があるが、公民館と地域センターの役割が違う。市民の意見、担当課の意見も十分聞くべきだと思う。

委員 修正の大きな趣旨は、全体として、皆さんの意見を生かして、提言としての体裁を整えた。また、市民の方が読まれることも重視した。今日、新たにご意見を伺い、修正していけたらいいと思っている。主な修正ポイントとしては、前文のところ、オンラインの普及について、もともとの文章は、情報伝達、情報提供の部分が主に書かれていたが、オンラインは双方向という側面があることから、このように修正をした。3ページのコロナ禍における公民館の役割について、大きなテーマで、もともとは、公民館の役割と書かれていたが、内容はWi-Fiの設置、オンライン活用講座などで、役割というより充実すべき対策が並んでいたの、ここを整理した方がいいと思う。新しい公民館の役割まで十分議論できたのかを考えると、新たな役割そのものを提言するのは難しいと思った。そこで、改めて対面での人と人のつながりや、その拠点となる身近な地域の学びの場の重要性が再認識された。さらに、新たなつながりや学びの創出といった役割が公民館に求められている、とした。この部分そのものが新しい役割でいいかどうかは皆さんに聞きたいところである。形としては、このように書いたうえで、そのための対策として、このようにしたらどうですかという形として、修正した。

①は、ハイブリッドの学習環境を整備するという書きぶりにした。本日のご意見を伺うと、Wi-Fiの設置と記入するとそこにフォーカスされるので、Wi-Fiの設置は外した方がいいかと思った。その中の1つにWi-Fiを設置して、多様なニーズに応える環境を整備する。また、対面の中にオンラインを取り込むのか、オンラインと対面を組み合わせるのか表現はいろいろあると思うが、ハイブリッドの形が、新しいつながり、新しい学びにつながるということにした。また、オンラインを効果的に使っていくための新しい学びなどを3点目に追加した方がいいかと思った。これらの対策を公民館として、どうしていくのか、という内容を入れる必要があるのかなと思った。

②について、講義視聴型の講座、遠方の講師による講座などはどんどん進めればいいし、公民館に足を運びにくい方についてもオンラインにより学べる機会を充実する、いうことを修正した。①と②をどう書き分けるか、もう少し考える必要がある。

③以降は、新たな役割のために調査をするというもので、後ろに持っていくか。④、⑤も別の場所に記載した方がいいのかは、考えていきたい。

4ページ目は、もともとの文書を少し修正した。①について先ほど出ていた、コミュニティの居場所づくりを進め、と書き加えた。

構成として、項目3の事業企画委員会について、課題が4つあって、対策が9ある。課題認識と書かれているものを事業企画委員会の抱える課題とした。課題と対策が対になるといいと思う。構成バランスの見直しや研修の必要性、モチベーションや待遇改善については、課題の①に対応すると思う。それ以降の課題②③④が対策のどこに当たるのか若干分かりにくい、④以降は事業企画の内容だと思う。年齢に偏らない企画、コロナ禍の対応なのか、コロナ禍のニーズなのか、通常のニーズなのか、そのあ

たりの課題がわかるように修正できていない。オンラインに必要な講座運営が、新たな事業運営なのかを、皆さんと整理できたらいいと思った。その後の項目については大きな修正はない。新しい公民館の役割、対策はそれでいいのか、事業企画委員会の課題と対策について、皆さんのご意見を伺えればと思った。

会 長 項目1の③の意識調査を6に記載したほうがいいと正副で話していたが、6に記載していいと思う。

委 員 本日伺った皆さんの意見はぜひ加えていただきたいが、今回よくまとめていただいた。先ほど話があったが、今の公民館のコロナ禍というものもあるが、前からの課題がコロナ禍で忘れられた課題があると思う。公民館を育てる人材の育成は重要だと思う。コロナ禍で公民館を引っ張る人がいなくなり、ますます、人材が必要ではないか。公民館に任せるのではなく、事業企画委員会の中に、もう少し具体的に記載したい。事業企画委員や友の会などを育てていかないと公民館自体の運営が難しくなってくる。Wi-Fiに関して引っ張っていく人も含めて、公民館に現役世代や退職後間もない人が必要だと思う。第2に人生を歩む人のための企画も出てこないといけない。今まで公民館に入ってきてもらいたいという人を事業企画委員に選んで、講座を企画してもらうことが大事だと思う。事業企画委員会のところでもいいし、項目6でもいいので入れられればと思う。

会 長 公民館を育てる人材の育成について意見があったが、どこに入れるべきか、意見はあるか。

委 員 公民館を育てる人材の育成については、私も常日頃思っていたことである。各公民館を担っているのは、やはりサークルだと思う。そこから、友の会や事業企画委員、審議会委員になる方もいる。コロナ禍で運営できないサークルもあるし、公民館としてサークルを支援する中で、人材育成になると思う。

会 長 講座終了後にサークル化はしてほしいが、代表者がいないからサークル化ができないということを経験した。役員の成り手不足が大きな課題だと思う。

委 員 公民館を育てる人材育成は、サークル化だけでなく、公民館に来れない人、現役世代、退職して間もない人達が公民館活動に参加するために、その人たち向けの講座を企画してほしい。例えば、若い現役世代が興味がありそうなビットコインや今の経済ことなど、新しい観点で講座を企画してもらわないと、その方たちの気を引く講座の企画が必要だと思う。企画はできるが、私たち公民館利用者が企画してもその方たち向け

ではないと思う。受講したいという側が企画しないとうまくいかないと思う。これまで来なかった現役世代、サラリーマンや退職して間もない人たちが事業企画委員になって講座を企画すれば、公民館を運営していく人たちも新しくなっていく。また、その講座を受講した方が、公民館活動に参加して、新しい役員になるということが言いたかった。

会 長 項目3の事業企画委員会に入れた方がいいと思う。

委 員 事業企画委員会について、各分館の裁量・努力で、企画委員をお願いしていると思う。今までの選び方、活動では限界がある。事業企画委員はとても努力しているが、今まで、選ばれていない人をどう選ぶか、どう入っていただくかを考えないといけない。まったくのボランティアで無償だということ、研修の制度もない、11館での連絡会もない。事業企画委員が疲弊してく一方である。新しい人を入れなくては行けないが、今の委員の方も充電、学習することも必要。情報交換の場が必要ということも聞いている。そのあたりのことを提言の中に入れてほしい。

会 長 今の発言については、対策①、③に記載している。また、情報交換についても記載されている。

委 員 事業企画委員会の書きぶりがもったいないと思った。項目1と2で、コロナ禍を受けつつ公民館の新しい役割を含めた提言になっている。項目3の事業企画委員の中では、従来の課題と新しい課題がわかりにくかった。項目1と2を受けて事業企画委員会の項目で、構成メンバーや企画の内容のことを記載することが今回の提言で重要なところではないかと思った。そのような意味で、コロナ禍で浮き彫りになった身近な居場所の意味、オンラインのような新しいつながりが生み出す新しい参加者が事業企画委員に加わってくればいい、新しい事業企画委員が企画する新しい講座の内容、などが項目1、2を受けて繋がっているように書き加えられればいいと思った。そのような書きぶりにすると、結構修正しなければならないと感じたので、修正していないが、そのような趣旨的なことが合意できれば、また、修正したいと思う。

会 長 そのような形で、修正していただいてよろしいか。

委 員 お願いしたい。

会 長 6ページの4行目、更新等ではなく更新等の。7行目の骨子案を素案に直してほしい。

事務局 項目6について、前期の委員のものを引き継いでいる。時間の都合で、赤字で記載している部分で一旦、修正する。

3 令和3年度小平市公民館定期講座等について

(質疑応答)

委員 花小金井南公民館の文化・教養講座「チャオ！シチリアと南イタリア」について、応募も多く受講者も28人いるが、ZOOMを使用したのか。

分館長 募集は12人としていたが、申し込みが多数あったため、講師と調整したうえで、ホールで机を使用せず、椅子のみで開催することとした。

委員 鈴木公民館のマンスリーミニコンサートは参加者が多く評判がいいが、他の分館でも企画されていていいと思うが、事業企画委員会では企画されないのか。

会長 鈴木公民館の事業企画委員会はモデル館として発足したが、公民館に足を運ばない方向けに、まずは公民館を知ってもらおうと企画したと聞いている。

事務局 中央公民館の事業企画委員会では企画されていない。以前、委員会から、連続講座にあたるかどうかの質問があった。

委員 他の分館の1つでも企画されればいいと思った。

委員 今年度もコロナの関係で、保育付き講座は開催すること自体が難しかったと思うが、工夫した点はあるか。

分館長 花小金井南公民館の子育て支援講座の保育付きで予定していた「はじめての子育て～赤ちゃんと笑顔に～」は、実施講座一覧表のとおり中止となった。子育て支援講座「3歳まで子どもの病気」は、オンライン限定で実施した。

分館長 保育サービスについては、子どもの定員の縮減、時間の短縮、消毒の徹底、保育者の増員などの感染対策を徹底して再開した。講座についても同様の取り扱いで、実施した。津田公民館の子育て支援講座「自宅で気軽に楽しめるハーブ入門」について、応募者が定員を上回っており、需要はあると感じている。

分館長 小川公民館の子育て支援講座「リトミックで親子のふれあい」は、保育付きの講座ではなく親子で参加する講座だった。あらかじめ講師と調整し、感染対策を考慮して、講座の時間を40分として、2クラスに分けて実施した。

分館長 上宿公民館は、子育て支援講座「ママのためのりらくすヨガ」「ママのためのアロマ&リフレクソロジー」の2講座を保育付きで実施した。他館と同様の感染対策を実施しているが、補足で説明すると、子どもだけでなく受講者である保護者にも検温等で感染対策を徹底している。

4 令和3年度 東京都公民館連絡協議会について

事務局より資料3について説明した。

1月28日の都公連研究大会課題別集会について、審議会委員からは勝谷会長と高橋委員が参加予定、後ほどURLを全員へ送付する。

久米委員が体調不良のため、3月までの委員部会は、勝谷会長に出席してもらおう。

5 令和4年度 小平市公民館事業計画の概要（案）について

会長 推進事項1の修正に注目した。公民館事業企画委員会の円滑な運営に努めます。続けて、また、新たな利用者の獲得を目指す講座の企画に留まらず、その先に続く新たなコミュニティの醸成を見据えた講座の企画に努めます。と修正されている。

提言の話し合いの中で、複数の委員から、居場所づくりが大切だという意見が出ていた。また、提言の項目の事業企画委員会の中にも、サークル化に結び付く事業の企画が必要だという意見がある。

今回、加筆された部分は、今期の提言で記載される予定の内容が反映されていて、とても良いと感じた。

委員 推進事項の14 公共施設マネジメントにおける公民館と他施設との複合化に関する検討、15 集会施設等の利用者負担の見直しについて、公民館利用者にも知らない人が多くいる。できる限り周知してほしい。

委員 14の中央エリアについては、設計の委託事業者が、隈研吾設計事務所に決まったと聞いた。なかまちテラスでは、利用者の意見が反映されなかったと聞いたので、そのようなことのないようお願いしたい。

- 館 長 中央エリアの設計の委託事業者が、隈研吾設計事務所に決まったことは、先週末ホームページで公表された。利用者意見は、ヒアリングやワークショップ等で設計段階から伺っていく。その機会にぜひ参加してほしい。次年度以降となるが、そのあたりもホームページで確認できると思う。
- 委 員 仲町公民館では、公民館が中心となってワークショップを何度も実施していた。公共施設マネジメント課だけに任せるのではなく、中央公民館も積極的ににかかわり、公民館の立場を発信してほしい。
- 館 長 ワorkshopや団体へのヒアリングは、設計事務所が中心となり進めるが、その場に公民館職員も参加すると思うので安心してほしい。
- 会 長 審議会や利用者への情報提供は十分に実施するよう提言にも記載される予定であるので、よろしくお願ひしたい。

6 その他

提言については、2月の自主研修会で引き続き検討する。

次回の定例会は、3月8日（火）午後2時から中央公民館にて開催する。